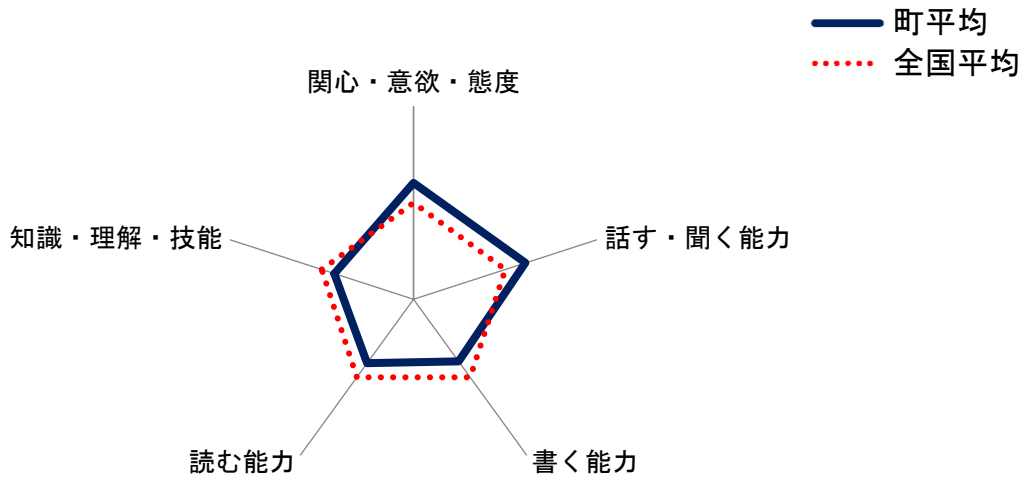
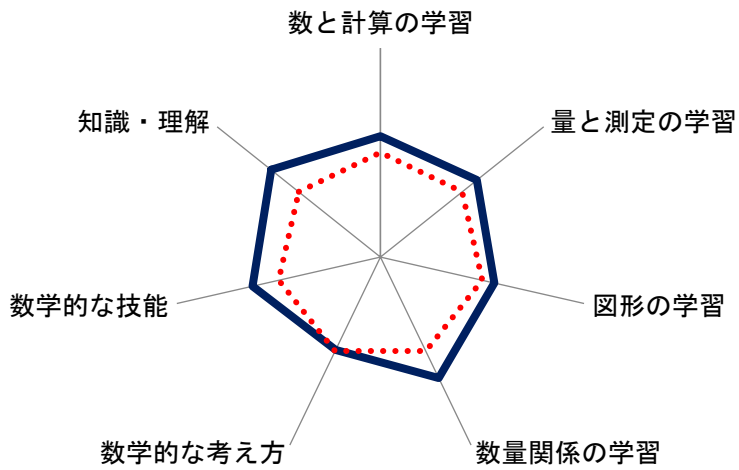


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【国語】



【算数】

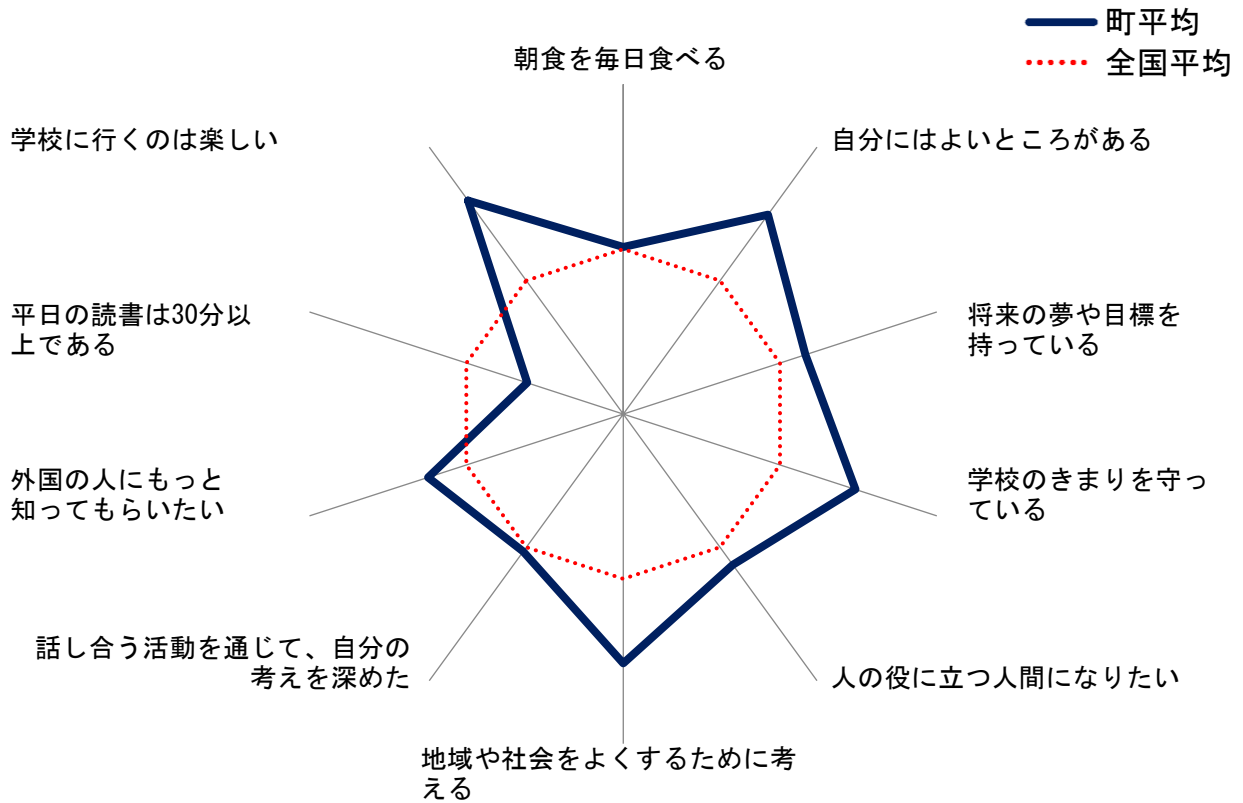


小学校

令和元年度 全国学力・学習状況調査  
(学習や生活の状況) 結果

内子町

○ 児童質問紙調査 (全国の平均回答率との差: 肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、算数は多くの項目が全国平均を上回っており、特に「数量関係の学習」、「数学的な技能」、「知識・理解」の各項目が良好である。国語は「書く能力」、「読む能力」、「知識・理解・技能」の各項目が全国平均を下回っていることから、今後も、知識と活用を一体的に捉えた学力の育成を図る取組を推進し、更なる学力の向上を図ることが望まれる。

児童質問紙調査では、多くの項目が全国平均と同じか上回っている。特に、「自分にはよいところがある」、「学校のきまりを守っている」、「地域や社会をよくするために考える」の各項目は全国平均を大きく上回っており、結果はきわめて良好である。「平日の読書は30分以上である」の項目は、依然として全国平均を下回っており、課題である。みきゃん通帳の活用やファミリー読書の推進など、読書に親しむ習慣づくりに心掛け、児童一人一人に応じた読書活動の充実を図る指導が望まれる。